

器具器械 17 血液検査用器具(オキシメータ及び専用分析装置であって主たる反応系を内蔵するものを除く)

抵抗式血球計数装置

全自動血球計数器 MEK-8100シリーズ セルタックオート

禁忌・禁止

併用医療用具[相互作用の項参照]

- 高圧酸素治療装置内での使用
- 可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用

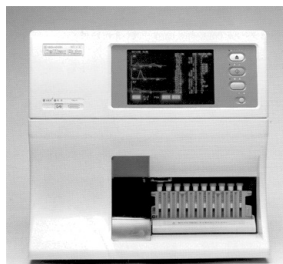
形状・構造等

本装置は、採血管をラックにセットして測定を行う全自動血球計数器です。血液中の赤血球数・白血球数・ヘモグロビン濃度などの血液パラメータ22項目を電気抵抗検出方式やシアンメトヘモグロビン法により測定し、結果を表示およびプリンタ(オプション)やパソコンなどに出力します。

なお、測定項目数の違いにより、以下の2機種があります。



《MEK-8108》



《MEK-8118》

型 式	測定項目数	
MEK-8108	8項目	詳細は、性能・使用目的の項を参照
MEK-8118	18項目	

構 成

名称・型式	個 数
本体 MEK-8108またはMEK-8118	1
白血球5分類ユニット QA-810V	選択
プリンタ WA-710V	選択
カードプリンタ WA-460V	選択
耳朶血ユニット MD-710V	選択
付属品	一式

- 付属品の詳細については、MEK-8108の取扱説明書8章 およびMEK-8118の取扱説明書10章 技術資料「付属品」を参照してください。

性能・使用目的

使用目的

本装置は、血液中の赤血球数・白血球数などの血液パラメータを測定し、貧血、細菌感染などの診断に役立てることができます。主に検査室などで使用し、測定結果を数値表示およびオプションのプリンタでプリントアウトします。

性 能

- 測定項目
 - MEK-8108
 - 白血球数(WBC)
 - 赤血球数(RBC)
 - ヘモグロビン濃度(HGB)
 - ヘマトクリット(HCT)
 - 平均赤血球容積(MCV)
 - 平均赤血球ヘモグロビン量(MCH)
 - 平均赤血球ヘモグロビン濃度(MCHC)
 - 血小板数(PLT)
 - MEK-8118
 - 白血球数(WBC)
 - 赤血球数(RBC)
 - ヘモグロビン濃度(HGB)
 - ヘマトクリット(HCT)
 - 平均赤血球容積(MCV)
 - 平均赤血球ヘモグロビン量(MCH)
 - 平均赤血球ヘモグロビン濃度(MCHC)
 - 赤血球分布幅(RDW)
 - 血小板数(PLT)
 - リンパ球パーセント比(LY%)
 - 単球パーセント比(MO%)
 - 顆粒球パーセント比(GR%)
 - リンパ球数(LY)
 - 単球数(MO)
 - 顆粒球数(GR)
 - 血小板クリット(PCT)
 - 平均血小板容積(MPV)
 - 血小板分布幅(PDW)
- 検出方法
 - 血球数 : 電気抵抗検出方法
 - ヘモグロビン : 比色法(シアンメトヘモグロビン法)
 - ヘマトクリット : ヒストグラムより計算
 - 血小板クリット : ヒストグラムより計算
 - 赤血球分布幅 : ヒストグラムより計算
 - 血小板分布幅 : ヒストグラムより計算
- 希釈倍率
 - 通常測定 WBC/HGB : 200倍
 - RBC/PLT : 4万倍
 - 耳朶血測定(サンプル量 20 μL)
 - WBC/HGB : 500倍
 - RBC/PLT : 10万倍
- 処理速度
 - 60検体 / 時間
- 測定範囲
 - WBC : 0 ~ 2999 × 10² / μL
 - RBC : 0 ~ 1499 × 10⁴ / μL
 - HGB : 0 ~ 29.9 g/dL
 - HCT : 0 ~ 99.9 %
 - MCV : 20 ~ 199 fL
 - MCH : 10 ~ 50 pg
 - MCHC : 10 ~ 50 g/dL

PLT : 0 ~ 149 × 10⁴ / μL
 LY% : 0 ~ 99.9 %
 MO% : 0 ~ 99.9 %
 GR% : 0 ~ 99.9 %
 LY : 0 ~ 1999 × 10² / μL
 MO : 0 ~ 999 × 10² / μL
 GR : 0 ~ 1999 × 10² / μL
 RDW : 0 ~ 50 %
 PCT : 0 ~ 2.9 %
 MPV : 0 ~ 20.0 fL
 PDW : 0 ~ 50 %

● 再現性

WBC : CV値 2.0 % 以下
 RBC : CV値 1.5 % 以下
 HGB : CV値 1.5 % 以下
 HCT : MCVのCV値として 1.0 % 以下
 PLT : CV値 4.0 % 以下
 LY% : CV値 5.0 % 以下
 MO% : CV値 12 % 以下
 GR% : CV値 5.0 % 以下
 RDW : CV値 2.0 % 以下
 MPV : CV値 5.0 % 以下
 PDW : CV値 5.0 % 以下

注釈:

ただし、血液コントロール MEK-3DNの10回測定データにて。

● キャリーオーバー

WBC、RBC、HGBにおいて2.0 % 以下

操作方法または使用方法等(用法・用量を含む)

詳細は別途用意されているMEK-8108およびMEK-8118の取扱説明書を参照してください。

準備する

詳細は、取扱説明書2章 測定準備の項を参照してください。

1. 電源コード・アース線を接続します。
2. チューブ類を接続します。
本装置に各試薬と排液ボトルをチューブで接続します。
3. 電源を投入します。
本装置背面の主電源スイッチをオンにし、装置正面の電源スイッチをオンにします。
4. バックグラウンドノイズと血液コントロールを測定し、データチェックを行います。

測定する

詳細は、取扱説明書3章 測定操作の項を参照してください。

1. 採血する
2. 検体をセットする
採血管に採取した検体をラックに並べ、ラックを装置のラック台にセットします。
3. IDを設定する
4. 測定を開始する
“測定”キーを押して、測定を開始します。

応用操作

詳細は、取扱説明書4章 応用操作の項を参照してください。

- ・IDの設定
- ・校正
- ・データ編集
- ・精度管理

各種設定

装置を使用目的に合わせて動作させるために各種の設定を行います。
 詳細は、MEK-8108の取扱説明書4章 応用操作の項およびMEK-8118の取扱説明書5章 各種設定の項を参照してください。

各種機能

装置の保守・点検に関する各種の機能が選択できます。
 詳細は、MEK-8108の取扱説明書4章 応用操作の項およびMEK-8118の取扱説明書6章 各種機能の項を参照してください。

使用上の注意

重要な基本的注意

装置本体について

- 電源コードは必ず、付属品の3ピンプラグ付き電源コードを使用してください。他の電源コードを使用した場合、操作者が電撃を受けることがあります。

測定について

- 検体を取り扱うときは、感染防止のために必ずゴム手袋を着用してください。
- 本装置で使用するME用品は、必ず当社指定の製品をお使いください。指定品以外を使用した場合、計測精度に影響を与えることがあります。
- 動作中は、可動部(採血管ラック)に手を触れないでください。
- アラームの表示された測定結果は機器異常や検体異常により正しく測定されていない場合があります。
特に「！」マークの表示された測定結果をもとに患者および被検者の症状を把握することは避けてください。

保守について

- 保守(点検・清掃・消毒など)を行う際は、装置の電源を切ってください。電撃を受けたり、誤動作の原因となります。
- 保守点検の際には、検体が付着している部分、あるいはその可能性がある部分に直接触れることのないよう、十分注意してください。ゴム手袋をするなど、通常の感染予防を行ってから作業してください。
- サンプル針およびリリース針は、血液が付着している可能性があります。先端が鋭く尖っています。保守点検の際には、手や腕を刺したり傷をつけないよう、特に注意してください。血液によって感染することがあります。
- 排液が目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 排液を捨てるときには、シアンが確実に分解されるように、排液ピンを軽く振ってから30分以上放置したのち、処分してください。
- 排液の色が褐色の場合は、必ず、シアンを分解処理してから排液を捨ててください。装置の故障によって洗浄液が吸引されなくなると、排液の自動処理が行われず、排液が褐色になります。

溶血剤(ヘモライナック・3)について

- 酸と混ぜないでください。シアンガスが発生します。
- 飲用しないでください。万一、誤って内服または吸入した場合は、医師の診察を受けてください。
- 目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は、直ちに多量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ヘモライナック・3はシアン化カリウム(0.04%)を含有しています。取扱いには十分注意してください。ヘモライナック・3の添付文書をよくお読みになった上でご使用ください。

洗浄液(クリナック・3)について

- 酸と混ぜないでください。塩素ガスが発生します。
- 飲用しないでください。万一、誤って内服または吸入した場合は、医師の診断を受けてください。
- 目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

相互作用(併用禁忌・禁止:併用しないこと)

医療用具の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高圧酸素治療装置 (一人用/多人数用)	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある
可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある

相互作用(併用注意:併用に注意すること)

電気手術器(電気メス)

- 電気メスとは近づけて使用しないでください。電気メスから発生する高周波エネルギーによって本装置が誤動作することがあります。予め誤動作の有無を確認してから使用してください。

周辺機器

- “△”マーク表示のあるコネクタに各種の周辺機器を接続する場合は、必ず当社指定の装置を定められた方法により接続して使用してください。[指定外の機器を接続すると、漏れ電流により操作者が電撃を受けることがあります。]
- 複数のME機器を併用するときは、機器間に電位差が生じないように等電位接続をしてください。筐体間にわずかでも電位差があると、操作者が電撃を受けることがあります。

作動・動作原理

詳細は、別途用意されているMEK-8108の取扱説明書8章およびMEK-8118の取扱説明書10章「技術資料」付属品」を参照してください。

血球数測定原理

検知孔の両側の電極に一定電流を流し、試料を吸引します。血球通過時の微小な電圧変化の信号を増幅器で増幅し、血球数を算出します。

血小板測定原理

赤血球および血小板の信号は、波高値のデータにしたがって装置内部でヒストグラムに整理されます。小赤血球型や大球性血小板などで、血小板と赤血球の分布が重なっている場合には、分布の形をCPUが判断して、一番分布の低いところにスレッシュホルドレベルを移動し、血小板計数範囲を変えて、精度の高い血小板計数を行います。

定量部動作原理

定量部は光学的方法で水位検知を行い、常に一定量の試料をロータリポンプで吸引しています。試料の吸引と吐出、および希釈液の給水と洗浄液での洗浄動作は、それぞれ電磁弁の切換えにより交互に行っています。電磁弁やポンプの回転および方向の制御はすべてCPUがコントロールし、定量部への泡の混入なども監視しています。

ヘモグロビン測定原理(シアンメヘモグロビン法)

白血球測定試料に溶血試薬を添加すると、赤血球膜が破壊されて細胞内部のヘモグロビンが溶出し、試薬中のシアン化カリウムと反応し、シアンメヘモグロビンに変化します。この物質は、波長540nmのところで幅広いピークを持つ分光特性を持っているため、この付近の波長での吸光度を測定して、ヘモグロビン濃度を算出します。

貯蔵・保管方法および使用期間等

使用環境条件

温度範囲 10 ~ 30
湿度範囲 45 ~ 90 %
気圧範囲 850 ~ 1060 hPa

保存環境条件

温度範囲 - 10 ~ 60
湿度範囲 15 ~ 95 %

耐用期間

5年(当社データの自己認証による)

保守・点検に係る事項

装置を正しく使用するために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。

定期交換部品

交換部品	交換の目安
フィルタ	測定回数が300回
ポンプチューブ	測定回数が3000回
サンプル針	測定回数が5000回
リリース針	測定回数が5000回
ウエストガード	測定回数が5000回

定期点検項目

項目	内容
外観	各部の汚れ、錆・傷の有無
	吸引部やスイッチ、ツマミ類の割れやガタつきの有無
	ラベルの汚れやはがれの有無
検知管	検知孔の汚れ、つまりの有無
	外部電極の汚れ、錆の有無
	HGB吸引管の損傷の有無
希釈部	希釈動作(気泡の混入)の確認
その他の流路	サブパス、測定パス、ポンプチューブの点検と交換
	サンプル針ガイド、サンブラガイドの清掃
	サンプル針、リリース針の清掃と交換
	フィルタのつまりの有無
表示部	表示切換え
	ディスプレイの表示の確認
記録部	記録抜けの有無
	日付の印字内容の確認
バックアップ	日付・時刻の設定内容と内容保持
電源部	電源コード、アース線の状態の確認
	ヒューズの容量の確認
	電源電圧の確認
動作	給水モード、洗浄モードの確認
	測定モードの確認
	検知孔クリア動作の確認
回路チェック	WBC、RBC校正值
	PLT校正值

測定項目の点検

項目	内容
バックグラウンド	WBC, RBC, HGB, PLT
血液コントロールでの再現性	WBC, RBC, HGB, MCV, HCT, MCH, MCHC, PLT

包装単位

1台単位で梱包

製造元 **日本光電** 富岡株式会社
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
販売元 **日本光電** 工業株式会社
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
☎(03) 5996-8000(代表)